

PA-940は、HFトランシーバーTS-940Vの終段入力を250W(10 mバンドのみ180W)にパワーアップするためのユニットです。

■特長

1. PA-940は、TS-940Sの100Wファイナルユニットと共通のユニットを使用していますので、リニアリティ、電力利得、最大コレクタ損失等の諸特性はもとより、負荷変動に対する信頼性も確保されています。
2. PA-940には、温度検出素子が内蔵されており、高温時の長時間送信などにより温度が異常に上昇した場合にTS-940本体の温度プロテクションが動作し、トランジスタを保護します。

■パワーアップ改造しますと。

パワーアップ改造をしますと、その後のアマチュア無線局の運用について法的扱いが変わってきますのでご注意ください。

1. 第二級アマチュア無線技士以上の無線従事者免許が必要です。
2. 申請書の書き方は◎頁にあります。

■部品一覧

改造に着手する前に、必ず部品の有無をチェックしてください。

- () 説明書.....1
- () 保証書.....1
- () 100Wファイナルユニット.....1
- () ネジ.....2
- () ヒューズ(6A).....2

■定 格

周波数範囲：1.9~29.7MHz の各アマチュアバンド
 定格終段入力：1.9~24MHz 250W
 : 28MHz 180W
 ドライブ入力：20mW
 入力インピーダンス：50Ω
 出力負荷インピーダンス：50Ω
 電源電圧：28V±0.3V
 寸法(mm)：幅225(225)×高さ95(95)×奥行75(90)
 重 量：1.7kg

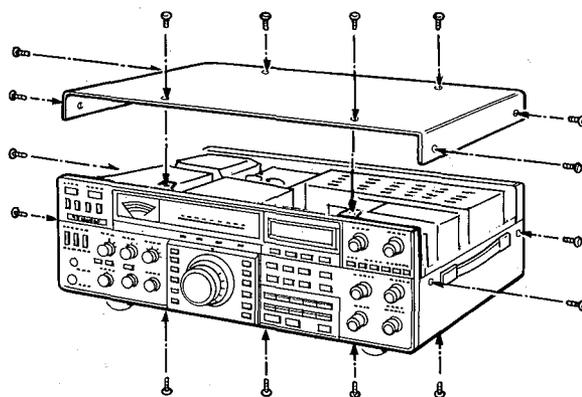
■作業に入る前のご注意

電源部、出力段及びフィルター部の改造を行ないますので、説明書の作業手順と方法を確実に実行し、誤りのないよう一つ一つチェックしながら作業を進めてください。またつぎの点にご注意ください。

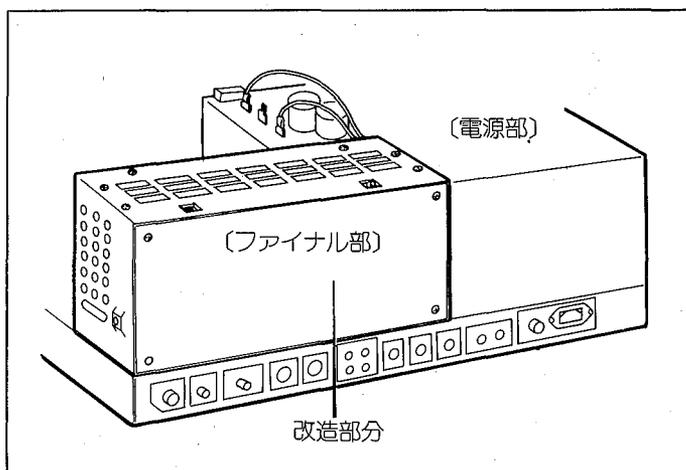
1. 取りはずしのネジは、部品取付けの際必要となりますので、無くさないように、ご注意ください。
2. 関係のない配線に手を加えたり、電線を傷つけたりしないように、ご注意ください。
3. 電線を部品やビス頭の下にはさまないように、ご注意ください。
4. セットの電源コードをコンセントから抜いてください。

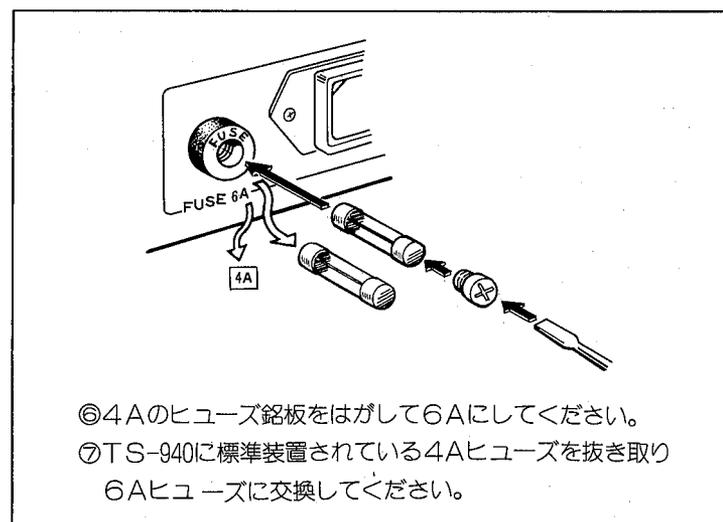
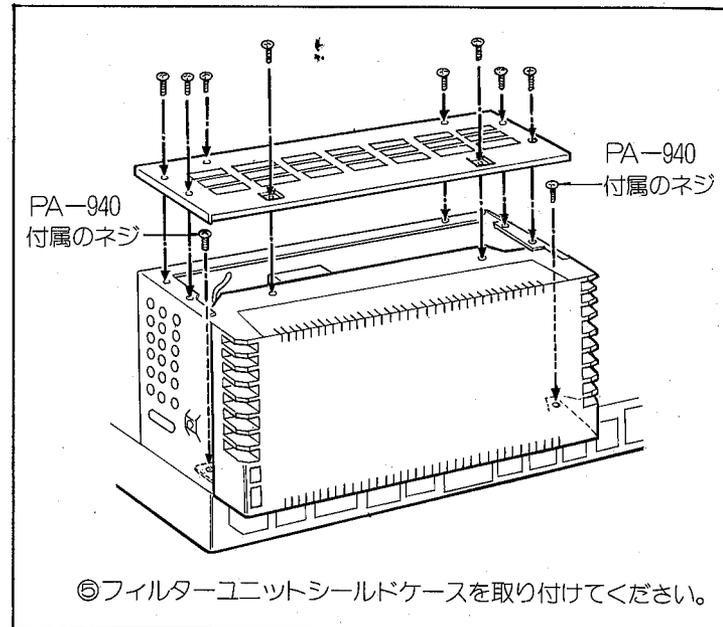
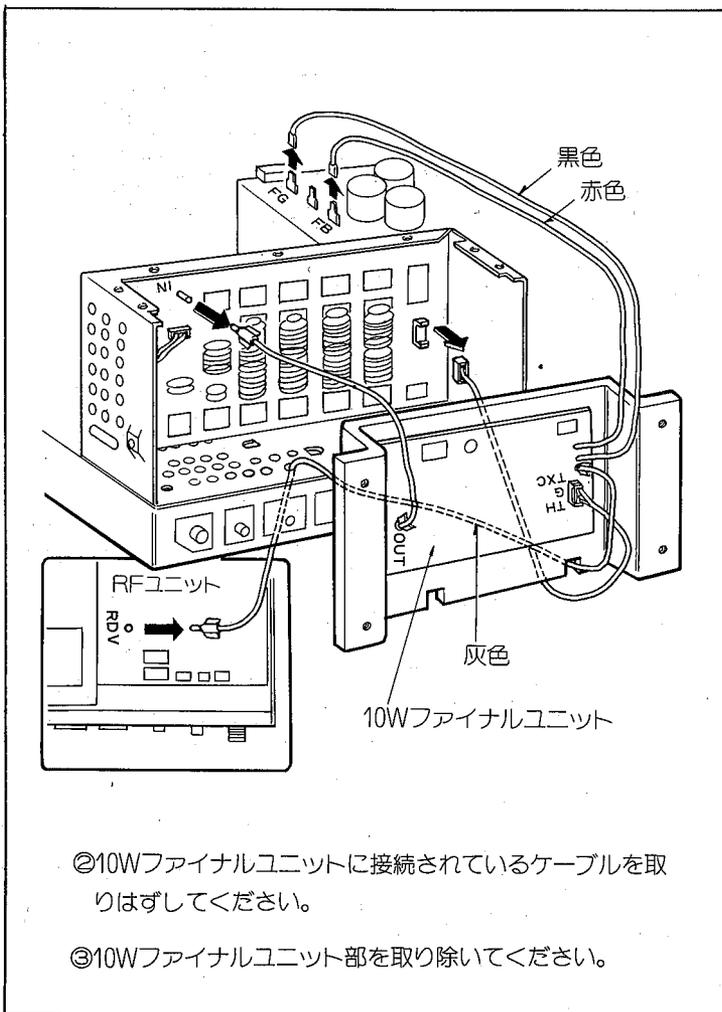
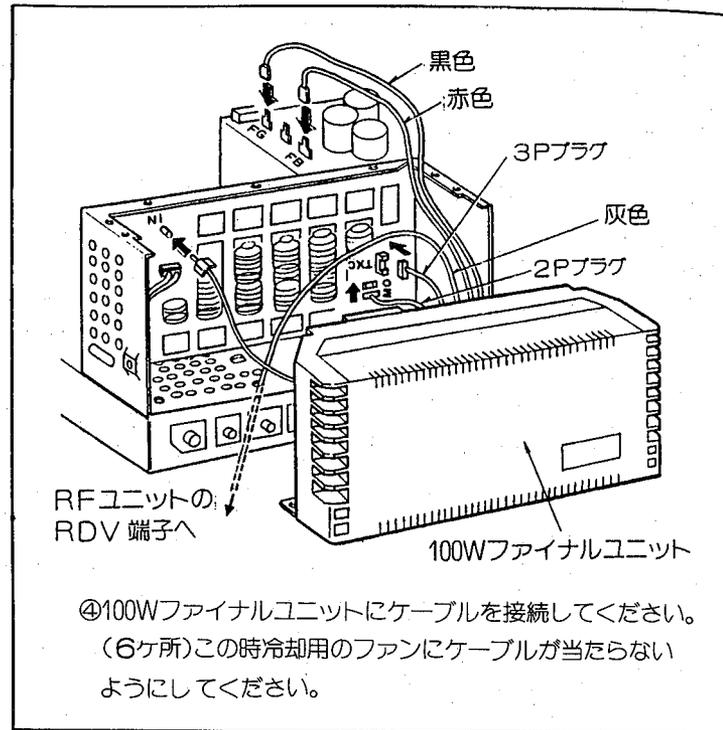
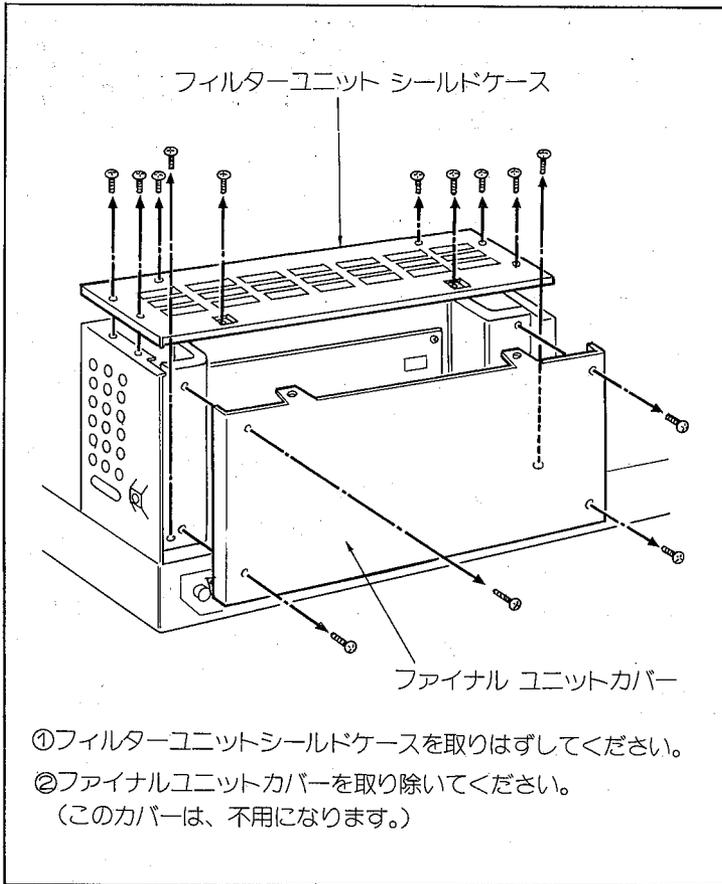
■ケースの取りはずし方

セットの上アタおよび底板のネジ16本を取りはずすことにより、ケースは取りはずせます。

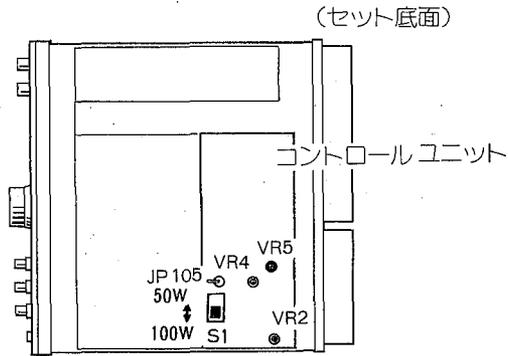


■ファイナル部及びフィルター部の改造





■コントロールユニットの調整部



◎ALC調整

1. JP105のジャンパー線をカットします。(きれいに取除いてください)
2. ダミーロードをANTコネクタに接続します。(ダミーロードは50Ω、150W以上のもの)
3. 周波数を14.175MHzにセットします。
4. METER(メーター)スイッチをPOWERにします。
5. 半固定抵抗器VR2を時計方向に回し切っておきます。
6. コントロールユニットS1が100W出力の位置になっていることを確認してください。
7. PWR(パワーコントロール)ツマミを時計方向最大にします。
8. CARレベルを最大にし(目盛10)、MODE(モード)スイッチをCWにします。
9. スタンバイスイッチをSENDにし(電鍵(KEY)が接続されている時はKEYダウンする)半固定抵抗器VR2をメーターで出力電力が100Wを指示するように静かに反時計方向にまわします。
10. スタンバイスイッチをRECにもどします。

◎V.S.W.R.プロテクション調整

1. スタンバイスイッチをSENDにし、CAR LEVELツマミを最小方向へスライドさせます。メーターでPOWER指示が40Wになるようセッティングします。
2. スタンバイスイッチをRECにもどします。

3. ANTコネクタから、ダミーロードをはずし、スタンバイスイッチをSENDにしメーターのPOWER指示が10Wになるよう半固定抵抗VR5を調整します。この調整は短時間に行ってください。
4. スタンバイスイッチをRECにもどします。

⑩パワーセッティング

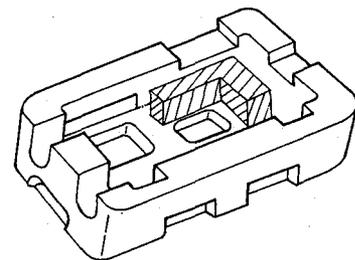
1. ダミーロードをANTコネクタに接続します。(ダミーロードは50Ω、150W以上のもの)
2. 周波数を28.5MHzにセットします。スタンバイスイッチをSENDにし、半固定抵抗VR4にてメーターのPOWER指示が50Wになるよう調整します。
3. スタンバイスイッチをRECにもどします。

〈ご注意〉

- コントロールユニットはシャーシから取り外す必要はありません。
- JP105は、ニツパー等で確実に切りはなしてください。
- 調整は定められたとおり確実にこなしてください。特に⑨はゆっくりと確実に調整してください。
- 指定された箇所以外の半固定抵抗器、トリマーコンデンサ等には絶対にふれない様にご注意ください。

⑪底板および上プタを取付けて完了です。(ケースの取りはずし方参照)

⑫TS-940VにPA-940を使用しパワーアップ改造した場合、R(リア)発泡スチロールの斜線部をカッターナイフ等でカットしてから段ボール箱に入れてください。



申請方法

- TS-940VにPA-940を追加した時には、JARLの登録機種としては取り扱われませんのでご注意ください。従って保証願書の提出時にJARL指定の用紙に送信機系統図を記載して添付してください。

●100Wでの申請方法

無線局事項書及び工事設計書

周波数帯	空中線電力	電波の型式
1.9 M	100 W	A1
3.5 M	100 W	A1, A3j
3.8 M	100 W	A1, A3j
7 M	100 W	A1, A3j
10 M	100 W	A1, A3j
14 M	100 W	A1, A3j
18 M	100 W	A1, A3j
21 M	100 W	A1, A3j
24 M	100 W	A1, A3j
28 M	50 W	A1, A3j, F3

22工事設計	第1送信機	第2送信機
発射可能な電波の型式周波数の範囲	1.9 MHz帯, A1	
	3.5 MHz帯, A1, A3j	
	3.8 MHz帯, A1, A3j	
	7 MHz帯, A1, A3j	
	10 MHz帯, A1, A3j	
	14 MHz帯, A1, A3j	
	18 MHz帯, A1, A3j	
	21 MHz帯, A1, A3j	
	24 MHz帯, A1, A3j	
	28 MHz帯, A1, A3j, F3	
変調の方式	A3j:平衡変調 F3:リアクティブ変調	
終段管	名称個数 MRF422×2	×
電圧入力	28V 250W 但し、28MHz帯は180W	V W
送信空中線の型式	※	
その他工事設計	電波法第3章に規定する条件に合致している。	

保証願

無線設備等			
周波数	空中線電力	電波の型式	登録機種の登録番号若しくは名称、又は発射可能な電波の型式、周波数の範囲
1.9 MHz	100 W	A1	第1送信機 TS-940V改造1.9~28MHz帯, A1, A3j, F3
3.5 MHz	100 W	A1, A3j	
3.8 MHz	100 W	A1, A3j	
7 MHz	100 W	A1, A3j	
10 MHz	100 W	A1, A3j	
14 MHz	100 W	A1, A3j	
18 MHz	100 W	A1, A3j	第2送信機
21 MHz	100 W	A1, A3j	
24 MHz	100 W	A1, A3j	
28 MHz	50 W	A1, A3j, F3	

● 50Wでの申請方法

無線局事項書及び工事設計書

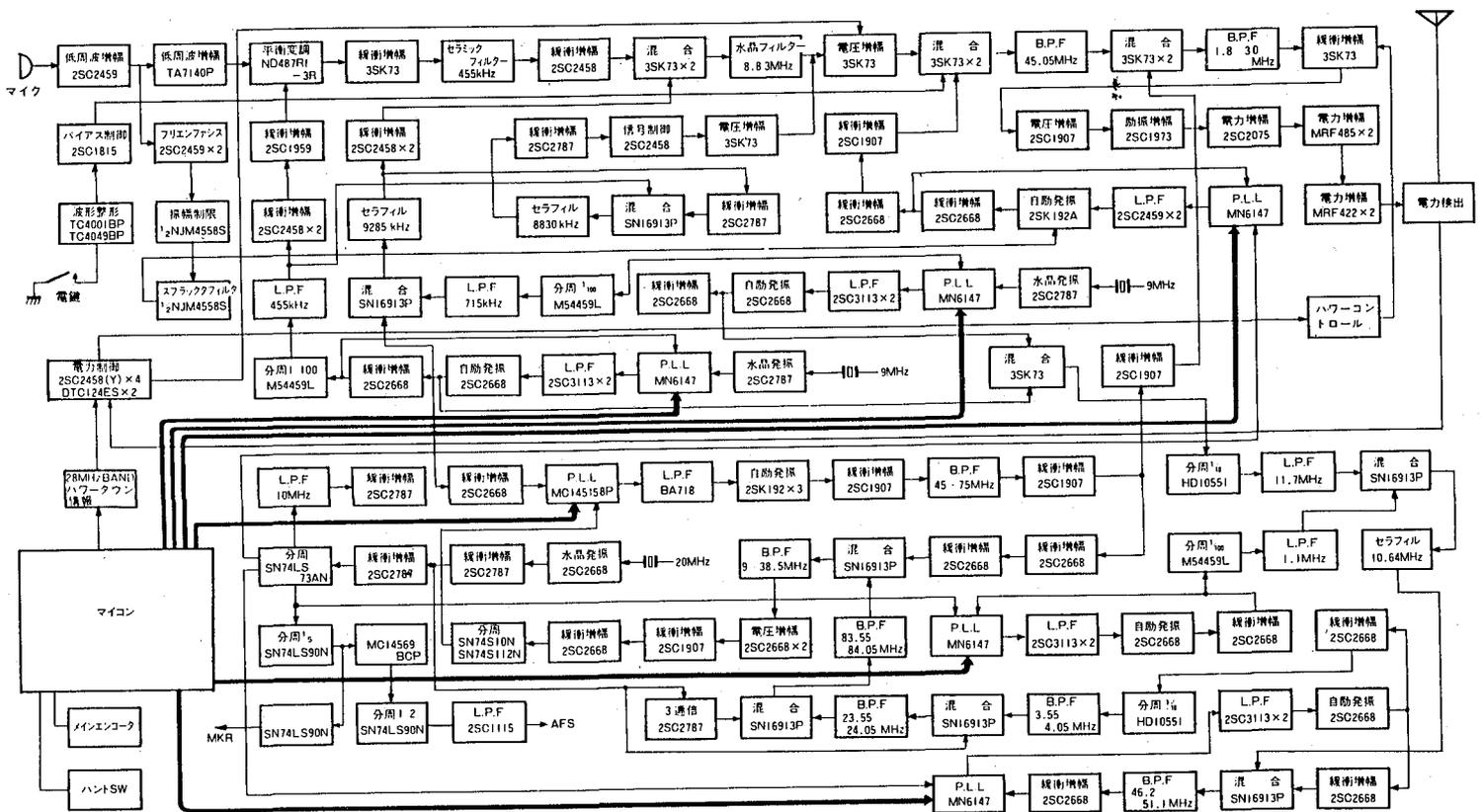
周波数帯	空中線電力	電波の型式
1.9 M	50 W	A ₁
3.5 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
3.8 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
7 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
10 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
14 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
18 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
21 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
24 M	50 W	A ₁ , A _{3j}
28 M	50 W	A ₁ , A _{3j} , F ₃

22工事設計	第1送信機	第2送信機
発射可能な電波の型式の範囲	1.9 MHz帯, A ₁ 3.5 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 3.8 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 7 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 10 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 14 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 18 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 21 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 24 MHz帯, A ₁ , A _{3j} 28 MHz帯, A ₁ , A _{3j} , F ₃	
変調の方式	A _{3j} :平衡変調 F ₃ :リアクタンス変調	
終段管	名称個数 MRF422×2	×
送電管	電圧-入力 28 V 180 W	V W
送電管の型式	※	
他の工事設計	電波法第3章に規定する条件に合致している。	

保証願

無線設備等			登録機種の登録番号若しくは名称、又は発射可能な電波の型式、周波数の範囲
周波数	空中線電力	電波の型式	
1.9 MHz	50 W	A ₁	第1送信機 TS-940V改造1.9~28MHz帯, A ₁ , A _{3j} , F ₃
3.5 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	
3.8 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	
7 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	
10 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	
14 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	
18 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	第2送信機
21 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	第3送信機
24 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j}	第4送信機
28 MHz	50 W	A ₁ , A _{3j} , F ₃	第5送信機
			第6送信機

送信機系統図



株式会社 ケンウッド

本社 東京都渋谷区渋谷2の17の5 シオノギ渋谷ビル 〒150

お買い上げ後のサービスのご相談は、購入店がお近くの当社営業所、サービスセンター窓口をご利用ください。
 その他商品に関するお問合せは、お客様相談室をご利用ください。 電話 (03)486-5515